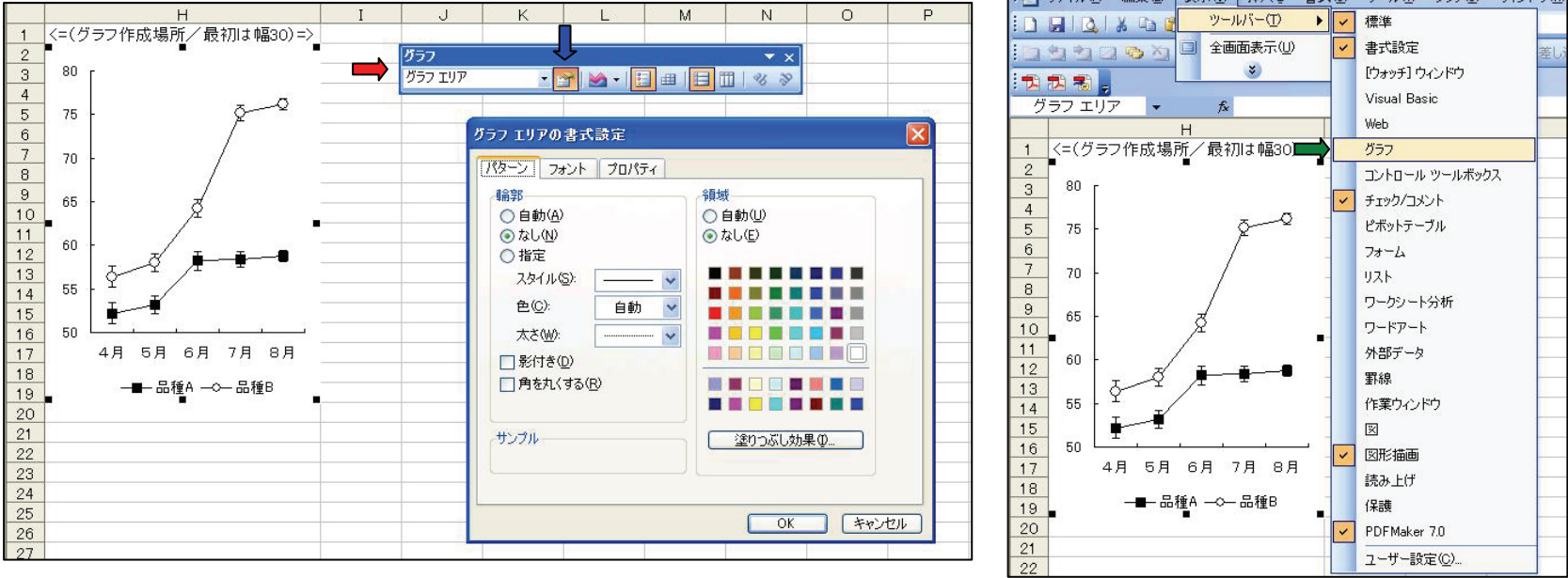


折れ線グラフ作成に関する操作について

「折れ線グラフ」ワークシートの「※グラフの作成」の3)～10)の操作を以下に説明する。
注)このファイルの用紙サイズはA3です。印刷の際には、用紙設定に御注意下さい。

■グラフ要素のダイアログボックスの展開



- ・グラフ要素(図ではグラフエリア)をマウスで選択すると、グラフツールバー(赤矢印)が展開する。
- ・グラフ要素が示された横のボタン(青矢印)をクリックすると、各要素の書式設定のダイアログボックスが展開する。
- ・グラフツールバーが展開しない場合は、右図のように、メニュー「表示」の「ツールバー」を選択し、グラフを選択する(緑矢印)。

- 3)グラフエリアのパターンで輪郭と領域を「なし」にする。
- 4)グラフエリアのフォントでMSPゴシック10ポイントにし、自動サイズ調整をオフにする。



- ・左図:「グラフエリアの書式設定」ダイアログボックスの「パターン」タグの「輪郭」で「なし」(赤矢印)、「領域」で「なし」(青矢印)を選択する。(テキストp221の(2)ー2を参照)
- ・右図:「グラフエリアの書式設定」ダイアログボックスの「フォント」タグで、矢印で選択肢を移動させ、「フォント」(赤矢印)と「サイズ」(青矢印)を選択する。
「自動サイズ調整」のラジオボタン(緑矢印)をオフにすると、グラフサイズを変更してもグラフで使用されている文字サイズは変化しない。(テキストp222の(2)ー3を参照)

- 5)プロットエリアパターンで輪郭と領域を「なし」にする。



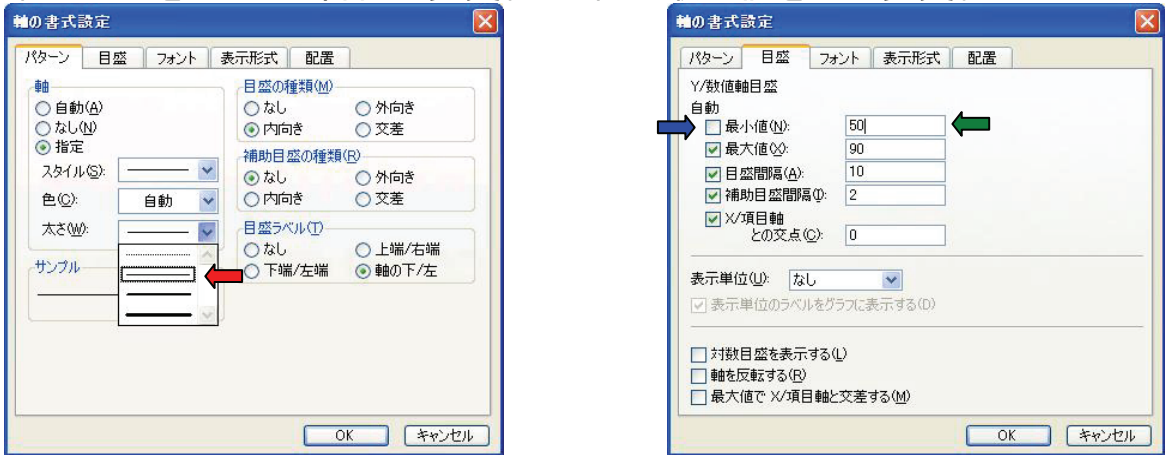
- ・「プロットエリアの書式設定」ダイアログボックスの「パターン」タグの「輪郭」で「なし」(赤矢印)、「領域」で「なし」(青矢印)を選択する。

- 6)凡例のパターンで輪郭と領域を「なし」にする。
- 7)凡例の位置で「下端」にする。



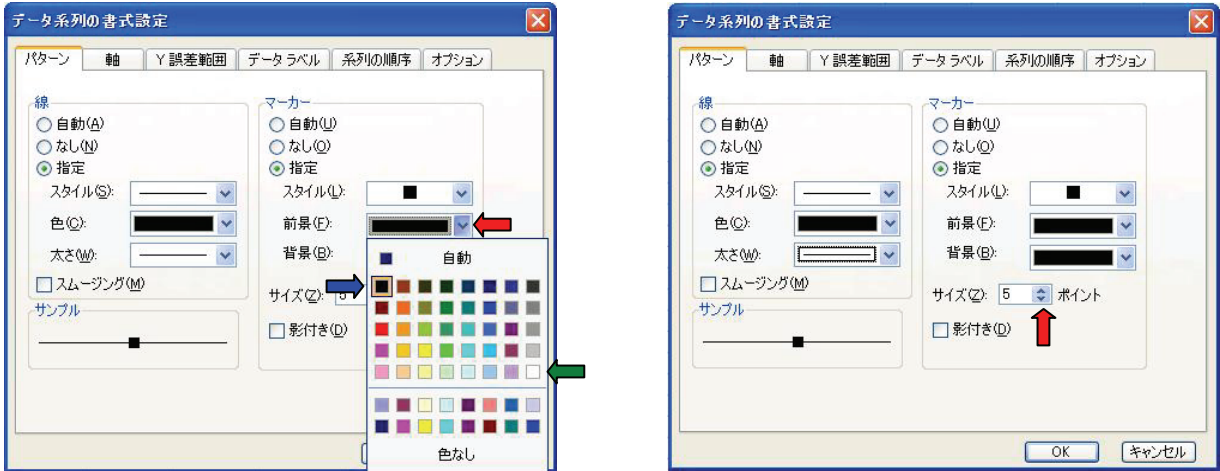
- ・左図:「凡例の書式設定」ダイアログボックスの「パターン」タグの「輪郭」で「なし」(赤矢印)、「領域」で「なし」(青矢印)を選択する。
- ・右図:「凡例の書式設定」ダイアログボックスの「位置」タグの「表示位置」で「下端」(緑矢印)を選択する。

8)X軸・Y軸の太さを上から2番目に変更。／Y軸の最小値を50に変更。



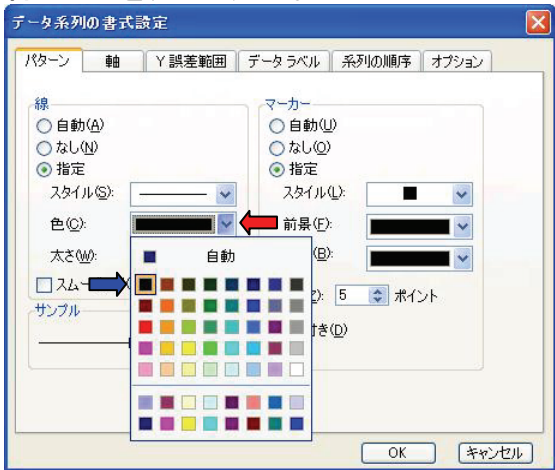
- ・左図:「軸の書式設定」ダイアログボックスの「パターン」タグの「軸」の「太さ」右の「V」をクリックし、上から2番目(赤矢印)を選択する。
(テキストp221の(2)－1を参照)
- ・右図:「軸の書式設定」ダイアログボックスの「目盛」タグの「最小値」の前にある自動設定のラジオボタン(青矢印)をオフにし、
右側の数字入力部分(緑矢印)に「50」と直接入力する。

9)それぞれのマーカーの色を白黒に変更しサイズを5ポイントにする。



- ・左図:「データ系列の書式設定」ダイアログボックスの「パターン」タグの「マーカー」で「前景」右の「V」(赤矢印)をクリックし、
左上の「黒」(青矢印)を選択する。
「前景」を「黒」、「背景」を「白」(緑矢印)にすると、白抜きのマーカーになる。
- ・右図:「データ系列の書式設定」ダイアログボックスの「パターン」タグの「マーカー」で「サイズ」の上下矢印(赤矢印)でサイズを選択する。

10)折れ線の色を黒にする。



- ・「データ系列の書式設定」ダイアログボックスの「パターン」タグの「線」で「色」右の「V」(赤矢印)をクリックし、左上の「黒」(青矢印)を選択する。